朝鮮社会科学者協会

通報



2

2018

通　報

朝鮮社会科学者協会

累計番号 10

目　次

조선사회과학자협회

KASS

「チュチェ思想と朝鮮民主主義人民共和国の 70 年に関する国際セミナー開催」

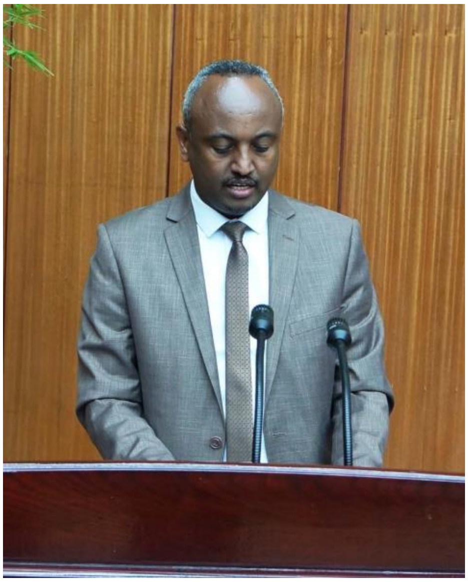
朝鮮民主主義人民共和国創建 70 周年に際してチュチェ思想国際研究所と朝鮮社会科学者協会の共同主催で「チュチェ思想と朝鮮民主主義人民共和国の 70 年」に関する国際セミナーが朝鮮民主主義人民共和国の首都平壌でチュチェ 107（2018）年 9 月 8 日に開催された。

セミナーには朝鮮労働党中央委員会副委員長である朝鮮社会科学者協会委員長パク・グァンホ同志、関係部門の幹部たちとハリシュ・グプタチュチェ思想国際研究所副理事長、各国と地域のチュチェ思想研究組織代表団、代表たちが参加した。



セミナーでは国際金日成賞、国際金正日賞受賞者である尾上健一チュチェ思想国際研究所事務局長の開会の辞に次いで朝鮮社会科学者協会１副委員長である社会科学院院長リ・ヘジョン同志の祝賀演説があった。

ハリシュ・グプタ副理事長が報告し、数名が討論した。



エチオピア金日成・金正日主義研究全国委員会委員長であるニガト・ダグナチェウは「アフリカ革命に奉げた偉大な金日成主席の不滅の業績と朝鮮民主主義人民共和国政府の大きな貢献を永遠に忘れないだろう」という題で討論した。

彼は朝鮮民主主義人民共和国はアフリカ諸国の政治的独立と民族的繁栄、自主性実現のための闘争を誠心誠意援助したといい、次のように述べている。

朝鮮民主主義人民共和国は植民主義者らの「最後の憩いの場」と言われていたアフリカ大陸で初めてアルジェリア人民が反帝反植民主義武装闘争の烽火をかかげて以来、今日にいたる長い間、アフリカ諸国の政治的独立と民族的繁栄、自主性実現を目指す闘争を誠心誠意援助した。

朝鮮民主主義人民共和国の創建者、偉大な指導者である金日成主席はアフリカ革命戦線の最高司令官となってアフリカ諸国の民族解放と新社会建設を目指す闘争を勝利へと指導したアフリカ革命の恩人、守護者であった。

金日成主席はアルジェリアだけでなく、モザンビーク、ジンバブエ、アンゴラ、ウガンダ、トーゴ、ナミビアなどの大陸のほとんどの指導者を接見し、彼らが進むべき道を明示し、彼らの闘争を積極的に支持し激励した。

今日、アフリカ諸国が世界舞台で自己の声を出しながら自己発展の道に沿って力強く進めるようになったのは全的に、朝鮮民主主義人民共和国の物心両面の私心のない支援のおかげである。

朝鮮民主主義人民共和国政府はエチオピアが新社会建設を力強く推進できるように誠心誠意援助した。

1980 年代初、エチオピアは自立的な経済土台があまりにも貧弱であっ

たので、新社会建設がはかどらない状態にあった。

こうした時、朝鮮民主主義人民共和国政府は工業、農業、保健医療など、各分野の技術幹部を送ってエチオピアが他国に頼らず、自分の足で歩めるように積極的に助けた。

エチオピア人民は今日も朝鮮民主主義人民共和国の真心のこもった支援を生々しく記憶している。

アフリカ人民は大陸の植民地民族解放闘争と新社会建設に歴々と刻まれた偉大な金日成主席の不滅の業績と朝鮮民主主義人民共和国政府の大きな貢献を永遠に忘れないであろう。



朝鮮民主主義人民共和国金日成高級党学校講座長であるゾン・ホドンは「朝鮮民主主義人民共和国はチュチェの思想論の威力で百勝の歴史を創造した政治思想強国」という題で討論した。

彼は革命と建設で思想が基本であり、人民大衆の思想精神力がすべてを決定するというのは朝鮮労働党が示した思想論の原理であるといい、次のように述べている。

わが共和国の 70 年の歴史は、偉大な党の指導の下にチュチェの思想論の旗を高く掲げて人民大衆の思想精神力を活火山のごとく噴出させて祖国の独立と栄誉を守り、富強繁栄する社会主義祖国を建設した偉大な闘争と勝利の歴史、大きな創造と変革の歴史であった。

この地上に世界が羨む人民大衆中心の社会主義国が建設され、前代未聞の帝国主義者の悪辣な軍事的侵略と卑劣な政治経済的封鎖の中でも国と民族の自主権と生存権、発展権が頼もしく守られたし、今日わが祖国が尊厳高い人民の国としてその威力が高く誇示されたのは、チュチェの思想論がもたらした貴い結実である。

創造と繁栄のもっとも強力な武器であるチュチェの思想論は、朝鮮革命の前進速度をさらに加速化して、社会主義強国建設偉業を完遂するための今日の闘争でも変わらない生命力を発揮している。

委員長を唯一中心にする千万軍民の一心団結の威力、自力自強の偉大な原動力によって社会主義強国建設のすべての部門で驚異的な成果が多発的に、連発的に得られている今日の激動的な現実を通じて、朝鮮人民だけでなく全世界はチュチェの思想論のような偉大な思想理論で強大になり繁栄するわが共和国の洋々たる未来をさらに固く確信している。



イギリスチュチェ思想研究グループ委員長であり、イギリス先軍政治研究協会委員長であるダモート・ハドソンは「反帝闘争の道、チュチェの道を歩んできた 70 年」という題で討論した。

彼は去る 70 年間、朝鮮民主主義人民共和国は帝国主義に反対する闘争を力強く繰り広げて勝利に勝利を勝ち取ったと言いながら、次のように述べている。

朝鮮民主主義人民共和国の創建は帝国主義者の植民地奴隷政策に打撃を与えた。これは自主性を目指して戦う被抑圧諸国人民に大きな励ましとなった。朝鮮民主主義人民共和国は常に反帝闘争の一線に立っていた。創建以来、全期間、朝鮮民主主義人民共和国は帝国主義に反対して戦う世界人民の大きな励ましと道徳的手本となっただけでなく、戦う人民に数回にわたって国際主義的な物質的援助も与えた。

朝鮮民主主義人民共和国が過酷な制裁や封鎖の中でも微動だにしないことにより、アメリカはシンガポールで 6 月 12 日、朝鮮民主主義人民共和国と膝をまじえて協商せざるを得なくなった。

ナイジェリア金日成・金正日主義研究全国委員会委員長であるアルハサ



ン・メンメンは「朝鮮民主主義人民共和国：チュチェ思想の威力」という題で討論した。

彼は朝鮮民主主義人民共和国の驚くべき発展と帝国主義に反対する闘争の歴史は、チュチェ思想の偉大で鼓舞的な力を離れて考えられないとし、次のように述べている。

さる70年間、チュチェ思想は帝国主義連合勢力の戦争策動と脅威、恐喝に反対する朝鮮人民を力強く鼓舞した。

朝鮮人民はさる70年間、発展途上諸国を窮地に追い込み、自己の資源を利用できる権利を奪った帝国主義連合勢力と朝鮮民主主義人民共和国にたいする彼らの戦争策動と脅威を制圧してきた。これはチュチェ思想が明らかにした団結と愛国主義、自力更生の結果である。それは人民の指導者金正恩委員長とトランプ大統領間の最近の対面過程で如実に現れた。対面はチュチェ思想よりもっと偉大な精神はないし、思い切って立ち上がった人民を引き止める力はこの世にないことを誇示した。

また民族の自主性と発展、進歩の秘訣が朝鮮の偉大な領袖たちが創始し現実に具現したし、領袖に忠実な人民がしっかりと武装しているチュチェ思想にあるということを示した。これは豊富な人的及び自然富源をもっていながらも飢餓の苦痛をなめているアフリカと発展途上諸国人民に教訓を与える。

ナイジェリアとアフリカをはじめとしたすべての発展途上諸国は、チュチェ思想と朝鮮の指導者と人民から多くのものを学んで人間の幸福と被搾取人民の権利のために努力している。

朝鮮民主主義人民共和国人民経済大学講座長であるゾ・チャンズンは「朝鮮民主主義人民共和国における自立的民族経済建設について」という題



で討論した。

彼は朝鮮民主主義人民共和国で自立的民族経済建設は思想理論の巨匠である金日成主席が不滅のチュチェ思想に基づいて創始した独創的な経済建設路線によって初めて開拓されたとし、次のように述べている。

金日成主席が示した自立的民族経済建設路線は自己の運命の主人は自分自身であり、自己の運命を切り開く力も自分自身にあるというチュチェ思想の根本原理を具現している人間中心の経済建設理論として、自主性を志向する新時代の要求を反映したもっとも科学的な経済建設綱領である。

主席は経済的自立を離れて富強祖国を建設しようとすることは砂上の楼閣のようなことであり、それは結局、一縷の夢に過ぎないというゆるぎない信条をもって、どの国の経済建設理論にもなく、論議すらできなかった自立的民族経済建設の独創的な路線を示した。

朝鮮民主主義人民共和国における自立的民族経済建設は主席の自立的民族経済建設路線を永遠の社会主義経済建設の戦略的路線として規定した金正日総書記の賢明な指導によって、人民経済の自立性と主体性をさらに強化する段階へと飛躍した。

朝鮮民主主義人民共和国における自立的民族経済建設は不世出の天出名将であり、不世出の愛国者である金正恩委員長の出色の指導によって今日、自立経済強国、知識経済強国を全面的に建設する新たな高い段階に至った。

金正恩委員長が示した経済強国建設に関する思想理論には主席と総書記が示した自立的民族経済建設の優越性とその発展の合法則性に合わせて必ず世界がうらやむ自立的な経済強国を建設しようとする委員長の確たる意志と遠大な構想が反映されている。



ロシアダゲスタン・チュチェ思想及び先軍政治研究協会委員長イゴリ・ボイコブ・アンドレエビチは「ロシア社会科学者たちの朝鮮民主主義人民共和国経験研究方向」という題で討論した。

彼はロシアの知識人社会において朝鮮民主主義人民共和国の経験を研究することは最小限に次の二つの原因によって切迫したものとなっているとし、次のように述べている。

国際社会主義体系の崩壊による危機を克服し、社会主義を固守した朝鮮のケースは、現代ロシアにおいても極めて教訓的である。

ロシアが社会経済形態としての社会主義を拒否し、大規模な機械生産縮小と人民経済体系の崩壊という深刻な危機（今日までも完全に克服されませんでした）に陥ったその歴史的時期（20 世紀末―21 世紀初）に朝鮮民主主義人民共和国は計画経済と社会主義制度を固守し、驚くべき経済的飛躍を遂げ、現在国際舞台で自己の地政学的比重を高めている。

ロシアは 21 世紀 2 番目の 10 年代初、対外政策においてある程度の成果を収めましたが、いまだに自主的な対外路線の実現を全的に保障し得る経済モデルを立てずにいる。

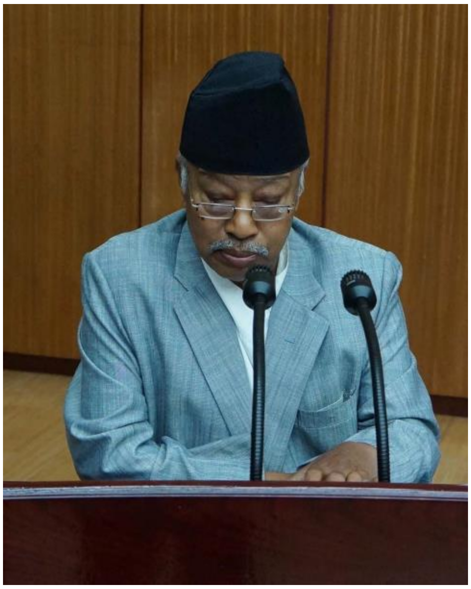
こうした原因によって、ロシア社会科学者たちが朝鮮民主主義人民共和国の社会政治体系と経済体系を細部的に研究するのが極めて適切なものである。

そして、ロシア社会科学者たちが必ず明記すべきことは、その社会に完成された世界観的、思想的基礎がないと真に自主的な対内外政策の実現が不可能だということです。朝鮮民主主義人民共和国にはロシアとは異なり、チュチェ思想という基礎がある。

朝鮮民主主義人民共和国で社会主義を擁護固守する活動でチュチェ思想が果たす役割を正確に評価すべきである。

終わりに、再度強調したいのは、朝鮮民主主義人民共和国の国家建設、経済建設の経験を研究することがロシアの社会科学者たちにおいて抽象的な学術上の興味ではなく、もっとも現実的な実践的意味を有するということである。

私は最高指導者金正恩委員長の賢明な指導の下に、21 世紀が朝鮮民主主義人民共和国において偉大なチュチェ思想の最後の勝利の世紀になるだろうものと深く確信する。



チュチェ思想及び先軍政治研究ネパール記者協会委員長マンジュ・ラトナ・サキヤは「ネパールにおけるチュチェ思想研究普及活動」という題で討論した。

彼はチュチェ思想は偉大な思想であり、ネパールをはじめとした世界のすべての国で大きな人気を集めているとし、次のように述べている。

ネパールの平和愛好的で進歩的な記者たちは 2010 年 4 月 15 日、カトマンズで金日成主席の誕生日である「太陽節」に際して、「チュチェ思想及び先軍政治研究ネパール記者協会」を結成し、チュチェ思想と先軍政治を広範な大衆の中に普及しました。われわれはネパールの知識人の間でチュチェ思想と先軍政治にたいする普及を広範におこなっている。

わが協会が組織する金日成主席と金正日総書記、金正淑女史そして金正恩委員長の誕生日の祝賀会には相、政党党首、教授と弁護士、ジャーナリストと知識人をはじめとした多くの人々が参加しています。朝鮮民主主義人民共和国大使館の大使や館員もわれわれの行事に参加して

いる。

金日成主席と金正日総書記は朝鮮人民の偉大な領袖であり、ネパールをはじめとしたすべての進歩的人民の偉大な領袖として永遠に生き残るであろう。

金日成主席と金正日総書記が成し遂げた貢献は世界の歴史に金文字で印されるであろう。

私は最高指導者金正恩委員長がご健康で、ご幸福であることと並びに朝鮮人民が今後とも進歩と繁栄を引き続き遂げていくことを心から祈願する。

討論者たちは討論を終わりつつ、「偉大なチュチェ思想万歳！」「朝鮮民主主義人民共和国 70 周年万歳！」「敬愛する金正恩委員長万歳！」などのスローガンを力強く叫んだ。

セミナーでは金正恩委員長に送る手紙が採択された。



ネパールでチュチェ思想全国セミナー開催

朝鮮民主主義人民共和国創建70周年に際して自主と平和、繁栄に関するネパールチュチェ思想全国セミナーがチュチェ107（2018）年9月5日、カトマンズで開催された。

会場の正面には金日成主席と金正日総書記の太陽像が掲げられていた。

偉大な主席と総書記、金正恩委員長の不滅の業績を収めた影像写真資料が会場に掲示されていた。

また、不世出の偉人たちの不朽の古典的著作とチュチェ朝鮮の真骨頂を紹介する図書、写真が展示されていた。

セミナーにはネパールの国会、政党、団体、チュチェ思想研究組織の人士たちと出版報道関係者たち、ネパール駐在の朝鮮特命全権大使と大使館の館員たちなどが参加した。

参加者たちは主席と総書記の太陽像に花篭と花束を謹呈し謹んで挨拶した。

セミナーでは祝賀発言に次いで基調報告と演説があった。

セミナーでは金正恩委員長に送る手紙が採択された。


Peace and Prosperity
and Songun Organizations of Nepal

チュチェ思想研究組織代表団、代表たちの万景台訪問、各所参観

朝鮮民主主義人民共和国創建 70 周年に際して平壌を訪問したチュチェ思想研究組織代表団、代表たちがチュチェ 107（2018）年 9 月 11 日に万景台を訪問した。

由緒深い太陽の聖地を訪ねた客たちは卓越した思想とエネルギッシュな指導によって人類が進むべき前途を明示した金日成主席の高貴な業績にたいする解説を聞きながら大事に保存されている事績物を見回った。

訪問を終えて客たちは自分たちの気持ちを披瀝し、訪問録に字を残した。

ハリシュ・グプタチュチェ思想国際研究所副理事長はこのように述べた。

世界各国のチュチェ思想研究者たちは朝鮮を訪問するたびに万景台の生家を訪ねてチュチェ思想の創始者である金日成主席の業績を再び顧み、大きな力と勇気を得ている。

われわれは今後とも不滅のチュチェ思想にたいする研究普及活動をさらに広く展開するであろう。

客たちはまた党創立記念塔、平壌文化展示館、平壌地下鉄などを参観した。













チュチェ思想研究者たちのための講習と講義

朝鮮民主主義人民共和国創建 70 周年に際して、朝鮮を訪問したチュチェ思想研究者たちのための講習と講義がチュチェ 107（2018）年 9 月 10 日と 13 日に行われた。

「朝鮮革命の歴史は自強力によって開拓され勝利してきた歴史」「朝鮮労働党の新たな戦略的路線について」という題で行われた講習には、イギリスチュチェ思想研究グループ代表団を始めとした22の代表団71名が参加した。

「金日成・金正日主義について」という題で行われた講義には、ロシア金正淑同志名称女性同盟代表団を始めとした 9 の代表団 26 名が参加した。

講義に次いで質疑応答があった。



チュチェ思想研究組織代表団、代表たちとの親善交流会開催

朝鮮でチュチェ思想研究組織代表団､代表たちとの親善交流会がチュチェ 107（2018）年 9 月 11 日にあった。

集いには朝鮮社会科学者協会副委員長､連関部門の幹部たちと朝鮮民主主義人民共和国創建 70 周年に際して朝鮮を訪問しているハリシュ・グプタチュチェ思想国際研究所副理事長一行、チュチェ思想研究組織代表団、代表たちが参加した。

集いの参加者たちは平壌で開催された国際セミナーがチュチェ思想の研究普及活動をさらに力強く推進させた歴史的会合となったと話し合い､多彩なスポーツ遊戯もしながら親善の情を深めた。







